

みやざき 議会だより

平成25年
11月5日発行

No.72

●発行／宮津市議会
●編集／議会情報化等特別委員会
TEL 0772-45-1639
<http://www.city.miyazukyoto.jp/~gikai/>

● 一般質問	5
● 補正予算等Q&A	2
● 9月定例会のうごき	2

日置中学校の人文字



東亜写真センター提供

表紙写真を募集します!

くわしくは裏表紙をご覧ください。

9月定例会のつぎ

9月定例会は8月28日から9月25日まで
の29日間にわたり開催されました。

内容は、人事案件（固定資産評価審査
委員会委員の選任等）3件、その他（財
産の無償譲渡等）2件、決算認定（平成
24年度水道事業会計）1件、補正予算（一
般会計1億984万円、特別会計5件
▲3357万2千円）計11件でした。い
ずれも原案どおり可決・認定されました。

一般質問は4、5日の2日間10人の議員
が行いました。

また、決算認定（一般会計、特別会計）
16件について、25日最終日に質疑が行われ、
10月に各常任委員会で審査しました。
今定例会の傍聴者は27人でした。



平成25年9月 補正予算等審査Q&A

9月9日、20日、各常任委員会で平成25年度補正予算等の審査を行いました。その概要は次のとおりです。

意見：委員会が市に出した意見 **経過意見**：審査の過程で委員から出た意見

補正予算

一般会計

総務文教委員会

天橋立駅前広場等リニ
ーアルの調査設計業務に
800万円

「海の京都」構想で天橋立地区マ
スタープランが決定され、関係者
で各取り組みを進めていくことが
合意されたことによるもの。

Q 完成イメージの広場の維持管
理費は年間いくらかかるのか？

A 維持管理費は算出できていな
いが、松葉の取り除き等日常
的な管理は地元で協力をお願い
したい。

Q 駐車場や案内所等利用者の意
見は反映されているのか？

A 地元や利用者の意向を聞いて
反映したい。

経過意見

地元・利用者の意向を反映すべ
きではないか。また、維持管理費
において、市の経費がかららない
ようにすべきではないか。

KTR新デザイン車両導
入支援に 283万円

あかまつ・あおまつに続き、更
なる改造車両の導入を支援するも
の。

低料金バス社会実験に
110万円

公共交通総合時刻表の作成やの
ぼり・バスラッピング等利用促進
啓発、住民説明会を開催すること
によるもの。

老人医療支給事業の国府
支出金等の返還に
57万円

京都府の平成24年度補助金の額
の確定による精算に伴うもの。

日置小学校の「土曜日を
活用した教育の在り方実
践」研究指定校の経費に
5万円

栗田中学校の「学力向上シ
ステム開発校」「土曜日を
活用した教育の在り方実
践」の研究指定校の経費に
280万円

bjリーグの誘致に
50万円

京都ハンナリーズのホームゲー
ムを誘致するもの。開催支援補助
金。

由良地区社会教育活用施
設（屋内運動場）改修工
事に 3120万円

旧由良小学校校舎撤去に伴う関
連工事に併せて、由良地区社会教
育活用施設（屋内運動場）のバリ
アフリー化、老朽箇所のリフレッ
シユ工事を行うもの。

Q 工事請負費（2800万円）
に対して、設計監理業務委託
料（320万円）が高いのでは
ないか？

A 再度精査した上で事業実施を
行う。

日ヶ谷地区公民館のトイレ
改修に関わる追加工事に
2200万円

日ヶ谷地区公民館改修の実施設
計を行ったところ、施設の裏手が
急傾斜地のため、安全対策として
矢板による工法等が必要になった
ことによるもの。

産業建設福祉委員会

北部地域包括支援センター整備費に 100万円

社会福祉法人成相山青嵐荘が平成25年10月に開設する「北部地域包括支援センター」の施設整備に支援するもの。

在宅療養多職種連携事業に 80万円

地域の医療・介護・福祉関係者に対して、在宅療養の基礎知識や

技能に関する研修会を開催し、今後の多職種連携のネットワークづくりにつなげるもの。

児童虐待対策に 21万円

プリンターや啓発用資材等の購入費用。

Q 当市の児童虐待の現状は？

A 新規発生は、平成23年度は9件であったが、平成24年度は4件と減少した。

現在抱えている対応件数は全体で29件ある。

経過意見

通告に追われるばかりでなく、根本的原因を分析し、児童虐待が発生しないように対策を講じられたい。

農商工親連携事業・地域特産物育成事業に 995万円

農林水産物(ナマコ・オリーブ等)の6次産業化・地産地消を推進するもの。

Q なぜ「オリーブ」なのか？

今なぜ「オリーブ」なのか？

A 外部協力者の助言もあり、当地は栽培の最適地とは言えないが、栽培が可能な所である。オリーブオイルはもちろん、化粧品や健康食品として6次産業化に向けた取り組みもされている。実証を踏まえ、将来「オリーブのまち」を目指していきたい。

意見

オリーブの新規作物栽培の導入実証は、「みやび」ジョン2011の重点戦略、定住促進の政策とどう整合するか位置付けを明確にし、将来の財源確保とともに、計画的な事業展開をされたい。

有害鳥獣対策に 217万円

増加傾向にあるシカ、サルの緊急捕獲対策を新たな手法により実施するもの。

Q 捕獲委託がイノシシは現状のまま、シカ・サルだけを増額したのはなぜか？

A 国の制度は新たな手法で、緊急かつ集中的に捕獲を実施しようとするもの。イノシシは従来手法で捕獲するため。

再生に向けての取り組み。

日置上地区内の生活道路の追加整備を行うもの。

集落営農組織等の設備整備への支援 136万円

人・農地プランに位置付けられた集落営農組織等へ支援するもの。

・パイプハウス1棟(波路・認定農業者)

・乾燥調整機器(小田宿野営農組合)

**9月補正予算
補正総額 1億984万円**

主な内容

一般会計

◆観光を基軸とした産業振興

- KTR天橋立駅前広場等のリニューアルに係る調査設計に **800万円**
- 地域おこし協力隊を活用した農商工親連携の推進に **835万円**
- 新規作物としてのオリーブの導入実証に **160万円**
- 人・農地プラン策定地区の集落営農の係る設備投資への支援に **136万円**
- 有害鳥獣対策事業に **217万円**

◆教育の充実と人材育成

- 由良地区社会教育活用施設の改修に **3,120万円**
- 日ヶ谷地区公民館のトイレ改修に係る工事費の追加に **220万円**
- 京都ハンナリーズの宮津市での公式戦開催に係る支援に **50万円**

◆健康増進と福祉の推進

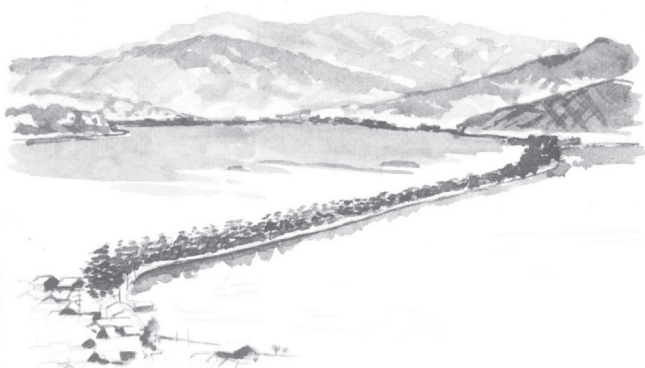
- 北部地域包括支援センターの新規拠点整備に係る補助に **100万円**
- 在宅療養における多職種連携に向けた研修会等の開催に **80万円**
- 保育士等の処遇改善に係る臨時特例支援に **808万円**

◆暮らしの基盤の整備

- KTR再生に向けた投資等に係る追加支援に **283万円**
- 低料金バス社会実験スタートに係る利用促進・PR経費に **110万円**
- 安心・安全で快適な生活環境づくりのための道路整備に **1,600万円**
- 道路・水路等の生活基盤整備に係る追加工事実施に **650万円**
- 木造住宅改修助成制度による耐震化及びリフォーム工事への支援の追加に **260万円**

「命の里」生活環境整備に 650万円

過疎化・高齢化が著しい集落の



特別会計

産業建設福祉委員会

介護保険事業

国府支出金等返還金に

1440万円

毎年12月に11月までの利用実績と2月までの利用見込みで交付金を受け入れたが、2月までの実績により、交付金が確定したため精算するもの。

簡易水道事業

関ヶ淵・竹ノ本の簡易給水施設整備に 330万円

簡易給水施設の整備に伴い、舗装復旧工事を行うもの。



竹ノ本浄水場

上石浦簡易水道拡張改良に 1700万円

由良上石浦簡易水道の一体化統合事業で、配水池の老朽化が著しいため、府と協議して新設するもの。

下水道事業

公共下水道施設整備に

▲7940万円

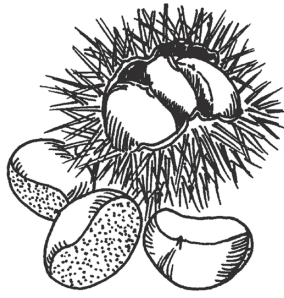
国からの内示が25%削減されたことに伴う減額。

Q 25%削減はなぜか、国の減額理由は？

A 近年では、防災、長寿命化に重点が置かれ普及促進に対しては交付率が低くなってきている。

経過意見

予算措置が75%では、平成30年の最終目標の達成に間に合わない。100%達成ができるよう努力されたい。



決算

産業建設福祉委員会

水道事業

平成24年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定

本年度の給水状況は、給水世帯の減少や節水意識の浸透などから、有収水量は減少したものの、給水収益は、平成23年10月請求分から実施した水道料金20%値上改定の影響により、約2100万円増となる約3億3000万円となったことに加え、高利率企業債の借換による利息が減少したことなどから、損益計算では、対前年比1700万円増となる4234万円の純利益を計上した。
当年度未処分利益剰余金は5047万円となり、減債積立金に1000万円、建設改良積立金に3000万円を積み立てた。
また、建設改良工事の主なものは、滝馬浄水場の大規模改修工事を継続して実施したほか、老朽化した石綿セメント管の布設替工事等を実施し総額は2億3559万円であった。

Q 20%の水道料金値上げから1年半経過したが、その後の分析と将来的な経営見通しは？

A 平成24年度は、結果的に4234万円の純利益を計上し、料金改定時の収支見込みより好転している。また、機構改革により室長の人件費を削減できたことも大きい。現状で推移すれば、収支見通しの算定期間である5年間は十分やこいける。

なお、石綿管の修繕・漏水が年間50件ほどあり、1400万円ほどの修繕費となっているので、少なくとも努力もしていきたい。

経過意見

漏水箇所が出ないように石綿セメント管の更新は、簡易水道との統合までに整備すること、できるだけ水道料金の値上げをしなくてもいいように、一層の経営努力と事業運営に努められたい。

その他

総務文教委員会

吉津小学校校舎耐震補強等工事(建築主体)の請負契約

指名競争入札を実施した結果、金下建設株式会社が落札し、契約

金額は2億2729万3500円となるもの。

産業建設福祉委員会

財産の無償譲渡

社会福祉法人香南会が、旧由良小学校校舎跡地に特別養護老人ホームを建設するにあたり、同法人が、既存の建物の解体撤去を行うため、解体対象となる建物を無償譲渡するもの。

Q 解体処分の仕方、工事中の安全対策は？

A 今後施工業者が決まったら、工事車両の進入路や工事のあり方を、地元で説明される。

経過意見

香南会に無償譲渡し権限が移っても、放任することなく、建物解体時の安全確保等にも努め、地域の意向に沿うように進められたい。



旧由良小学校

一 般 質 問

市政に対する質問・提言 ここが聞きたい!!

9月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

特定鳥獣（ニホンザル）の今後の対策について

蒼風会 嶋田茂雄

答弁要旨

個体数調整の許可に必要な資料収集に努める

質問 京都府内にニホンザルは、現在36群程度生育しており、1700〜2200頭と推測される。丹後管理ユニットには、6群が分布している。全体の個体数は200頭前後と推測され、宮津管内は、橋北方面に集中しているが、だんだんと南方面に被害が拡大してきている。府内での被害調査は平成21年度には1億円を超えている。出没場所は、群

答弁 本市の平成24年度の主な有害鳥獣の捕獲実績は、

の多くが農地はもちろんな民家の庭先や住居の中にもで現われ、農作物や保存食品に甚大な被害を与えている。住民にも危害が及び危険性があり、耕作放棄地も増加している。京都府の加害レベル表でも、レベル4・5に達している。宮津市の現在の被害総額と今後の被害対策を問う。

イノシシ285頭、シカ27頭、ニホンザル10頭であり、市全体の被害総額は、約2430万円となっている。このうちニホンザルによる被害が340万円である。宮津A群の生息数は地元の情報によると80匹を超える数が確認されている。府の保護管理計画では、防護柵の設置などによる被害防除対策、個体数調整による捕獲対策、バッファゾーン整備等の生育地管理が示されている。人を襲うなどの甚大な被害を及ぼす群は個



捕獲されたニホンザル

体数調整を実施する必要があり、これまで以上に出没状況や被害写真などの提供を地域にお願いして、許可に必要な資料の収集に努め、京都府へ要望する。

宮津市選挙の投開票日の時間短縮の検討を

無党派 坂根栄六

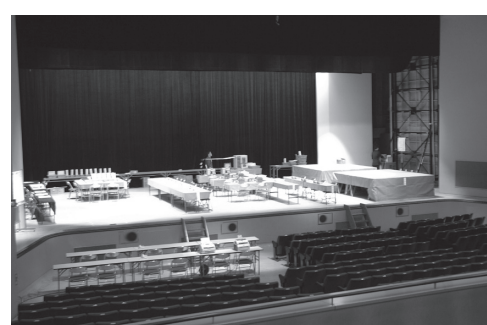
答弁要旨

地元の意見を聞き選挙管理委員会で検討

質問 今年7月の参院選では、全国4万8777カ所ある投票所のうち、34%が閉鎖時刻を繰り上げた。また、前回の市議選の投票率は、73.47%と比較的高い投票率であり、投開票日当日の18時以降の投票者の割合は、有権者数の3%、投票者数の5%である。選挙費用負担は国府の選挙はないが、市は全額負担で前回約2500万円。市議選等で、夜遅くまで開票作

答弁 時間延長に係る制度改正は、有権者がより投票しやすい環境を整えるため

業が続き選挙従事者の労力や時間を考えると、期日前投票があるのであれば、投開票日当日の終了時刻を18時に戻し経費削減、負担軽減をしようか。市の考えと、投開票日当日の閉鎖時刻を戻した時の経費削減額、立会人の報酬・出勤職員数・職員の日当額を問う。



開票所（宮津会館）

に導入された。選挙管理委員会事務局としては、時間の短縮によって投票する機

会を奪ってしまうことにつながることを最も懸念する。投票機会確保の観点から難しいと考えながら、最終決定は選挙管理委員会である。地元の意見を聞いた上で、選挙管理委員会で検討する。削減額は約55万円。立会人報酬額は9630円（選挙執行経費基準法に定められた金額を基準）。出勤職員数は116人。職員一人当たりの日当額は時間単価2300円で約3万2千円（時間外勤務の位置付け・選挙執行経費基準法の算出単価よりも低額）である。

在宅福祉サービスの充実を

市民連合クラブ 河原末彦

答弁要旨 小規模多機能型居宅介護は、引続き協議する

質問 当市の高齢者在宅福祉サービスの現状をどう捉えているか。利用者の心身の状態や必要に応じて、自分が希望する時間帯に通うことができ、通いのない日はヘルパーの訪問を受け、泊まることもできる。また、回数も時間も内容も一人ひとりの希望に合わせて対応している「小規模多機能型居宅介護事業」は、他市町では平成18年度から取り組まれているが、当市には無く、第6次宮津市高齢者保健福祉計画で26年4月に1カ所の開設を見込んでいる。現在の開設に向けての取り組みを伺う。次に、専門家による安否確認並びに生活相談サービスが必須とされる「サービス付き高齢者向け住宅」の設置促進も行っていくべきと考えられているか。

答弁 当市では、介護保険施設の整備とともに、在宅介護を中心としたサービス基盤の整備を推進しているところであるが、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリといった訪問サービスやデイサービス、通所リハビリといった通所サービスについて、今後充実を図る必要があると考えている。



与謝野町後野で開設されている「小規模多機能型居宅介護事業所」

「小規模多機能型居宅介護」の取り組みは、昨年度より市内の社会福祉法人等との協議を進めているが、各法人とも看護職員等の確保や運営、経営面での課題もあるが、高齢者保健福祉計画期間中に整備できるように引き続き協議を行っていく。「サービス付き高齢者向け住宅」の普及促進にも努める。

期日前投票宣誓書を事前に記入できる対応を

公明党 松本 隆

答弁要旨 ダウンロードや市役所・連絡所等で配備対応

質問 「期日前投票」は通常の投票と違い、「宣誓書」を提出しなければならぬ点がある。しかし、投票所で「宣誓書」を記入することに困難やストレスを感じたり、周囲から見られるだけで何かと緊張し、自分の名前すら書きづらいなどの声を聞く。そこで、選挙管理委員会から郵送される「投票所入場券」の裏面に、「宣誓書」を印刷し、本人が投票所に行くまでに事前に記入でき、簡単に期日前投票ができるよう、また、「宣誓書」をパソコンでもダウンロードできるように提案する。

答弁 期日前投票は、平成15年から導入され、今般の参院選挙でも2700人余りの方が活用されている。この制度は、当日投票所に行けない理由を選択し、氏名、住所、生年月日を記入していただく「期日前投票宣誓書」の提出が必要とされている。また、国からも「選挙人が事前に宣誓書に記入することができるよう便宜を図るよう」に努めること」との取扱い通知が出ている。宮津市の場合、入場券は

圧着式で1枚のハガキに家族4人の選挙人が印刷されるものとしており、郵便料の節減を行っている。1人分の入場券は大変小さなサイズのものであり、「宣誓書」の様式を裏面に印刷することは現状では困難だが、コストが抑えられる方策を考えていく。まずは、市ホームページからの様式のダウンロード対応を実施するとともに、市役所や各地区連絡所の窓口にも「宣誓書用紙」を配備して事前に持ち帰っていただけるよう対応していきたい。

期日前投票宣誓書	
私は、平成26年執行の「 <small>選挙区</small> 選挙区選出議員選挙」の期日、下記の事由に該当する見込みです。 次の1から3又は5のいずれか2を付けてください。	
1	ア、仕事、イ、学業、ウ、地域行事の役員、 カ、本人又は家族の設備関係、 ク、その他（ ）
2	イ、本市以外の選挙区、 ロ、市内-町内-郡内、 ハ、本市以外の選挙区、 ニ、本市以外の選挙区
3	ア、疾病、負傷、出産、身体障害等のため参院選挙、 イ、投票施設等に故障
5	投票所から遠く、本市以外の選挙区
上記は真実であることを誓います。 平成26年 月 日	
選挙管理委員会委員長 様	
氏名	生年月日 姓・大 姓・中 姓・小 姓
住居	〒 市 区 町 丁目 番 号
選挙人名簿記載されている住所 (上記と異なる場合はのみに記載)	
<small>ここに必ず以下の欄は記入してください。</small> 氏名 姓 名 交付(届)番号 ページ 性別 男・女 (投票番号)	

期日前投票宣誓書用紙

その他の質問
「行政改革から反転攻勢の取り組み」について

新し尿処理施設の改修の

再検討・見直しを

日本共産党 宇都宮 和子

答弁要旨 大きな財政出動が必要なため慎重に検討する

質問 老朽化著しい、現し尿処理施設を更新する手法として、メタン発酵処理の実証実験結果が報告された。しかし約11億円の建設費とそれに付随する貯留タンクや散布車等かなりの経費がかかる。また発酵液を使う農家の理解は、年月が掛かるのではないか。本来の目的である二酸化炭素削減の観点からもメタン発酵にはかなり課題が多い。人口規模の似ている与謝野町では、水洗化に伴

いし尿が減少している。それは宮津も同じだ。与謝野町衛生プラントへ宮津のし尿投入の可能性があると聞く。統合して効率よい手法も検討されてはいかがか。

答弁 現施設のコンクリート水槽は危険箇所が指摘され、早急な更新が必要だ。平成22年からメタン発酵施設導入検討を行ってきた。新たな施設は大きな財政出動が必要なので慎重に検討中だ。本年度中には整備方針を取りまとめなければならぬと考ええる。与謝野町との統合については話をしてみる。

教育現場における体罰について

質問 昨年末大阪で起きた体罰による生徒の自殺は衝撃を与えた。学校における体罰は、学校教育法でも禁止されている。この問題を教育長はどうか考えるか。また、こうした問題について教師間で話し合いはされているのか。

答弁 体罰は決して許されない。2月に実態調査をし、結果体罰は一件も無かった。各校に「体罰根絶対策委員会」を設置し対応している。

食品卸売センター

今後の対策・将来構想

宮津新生会 谷口喜弘

答弁要旨 観光商業施設として活用、改修内容を詰める

質問 宮津食品卸売協同組合清算に伴う、食品卸売センターの状況と今後の対策、将来構想を伺う。

答弁 現在、朝市を経営する天橋立市場株が、食堂や物販の昼間営業に試行的に取り組む中、こうした取り組みも踏まえ、今後は魅力的な施設に向けて関係団体等と協議しながら、例えば特産品の一つであるチクワなど煉製品の加工見学や体験の場など魅力的な施設に向けて協議し、観光商業施設としてのあり方を決定していきたい。

また、今後の施設改修は、お客様を受け入れる施設として整備が必要であり、残りの空調設備やトイレ改修、外装の改修など観光商業施設のあり方と併せて、改修内容を詰めていく。

栗田のバス路線について

質問 島陰新宮線は教育バス一般混乗型であるが、路線バスや市街地直通便など路線と時間帯について今一度熟慮ができないか。また、新設の由良く栗田小学校間を一般混乗型にできないか伺う。



食堂等、昼間のおためし営業

「海の京都」構想と本市の

活性化策について

蒼風会 橋本俊次

答弁要旨

民主導の協議で質の高い観光地を形成する

質問 京都府は、京都縦貫自動車道と舞鶴若狭自動車道の全線開通を控え、府北部の観光振興と地域経済活性化に向け「海の京都」構想を発表した。陸路、海路を通じ観光客の増加が予測されるが、本市の景観形成と活性化策、経済の波及効果を伺う。

①道の駅や「宮津マルシェ」との関連は。

②来年開催の「海フェスタ」関連は。

答弁 北部5市2町が戦略拠点で宮津市は天橋立地区を選定し、文珠・府中地区民と観光や交通関係、府中も参画する「海の京都天橋立地区協議会」を立ち上げマスタープランを決定した。

民主導の理念のもとに町並み修景や名物料理の開発、KTR天橋立駅前広場のリニューアル等61の事業を掲げ、魅力ある質の高い滞在型観光地を目指して取り組んでいる。

「海の京都」構想を受けての文珠・府中のまちづくりと、北前船を生かしたまちづくりを進めるための庁内組織として副市長をトップとする「地域再生プロジェクト推進チーム」を設置した。



天橋立駅前広場イメージパース

①「宮津マルシェ」と海の京都構想の関連について、浜町地区は含んでいないがパーク&クルーズなど、市街地・天橋立の回遊性を強化し、集客に努めるとともに、「宮津マルシェ」第2・第3ステージの整備を進める。

②「海フェスタ」が来年度に日本海側拠点港舞鶴市を中心に開催され、本市も開催を検討する。

防災対策・命を守る取り組みを

公明党 松浦 登美義

答弁要旨

市職員対応マニュアルを作成し訓練をする

質問 各地で、豪雨や竜巻が発生している。気象庁は今年の夏、30年に一度の異常気象と位置づけた。本市の防災無線や避難の課題、自治会未加入者や観光客の安全確保、緊急地震警報誤報の教訓や台風23号等の経験を活かした「命を守る対策」が必要であり、平時に様々な災害を想定したマニュアル・行動の整備は必要である。たとえば今、津波が発生した場合、市職員はどのように対応するのか問う。

答弁 本市では、台風23号の教訓を踏まえ、宮津市災害時たすけあいネットワークを構築している。しかし、登録者は情報提供に同意の方のみであるため法改正により今後整理作業を行う。なお、現在防災行政無線や市独自の防災メール、観光客等への緊急メール配信、防災行政無線放送確認の防災ダイヤルの開設、要援護者等にはファックス等情報手段の確保に努めている。自治会避難については今後、市も入り現場に即した対応を検討。また、津波等緊急時の市職員対応マニュアルを作成して訓練を実施する。



総合防災訓練の様子

世界一の環境みやびでまちおこし

質問 宮津にあるエネルギー資源を活用した還元施策によるまちおこしが必要。他市では、県民債を発行して事業者に貸し付ける制度や市民ファンドが原動力。地域主導の普及を望むが本市の取り組みについて問う。

答弁 市民ファンドの創設等、電力の買取り制度を活かした市民・地域主導の再生可能エネルギーの普及につながる市民協働による取り組みを推進。

下水道受益者負担金の

軽減策を考へては

日本共産党 長林 三代

答弁要旨 相談の中で納入期間の柔軟な対応をしている

質問 自然環境の保護や生活環境の向上・利便性を追求した下水道事業において、1㎡あたり400円の受益者負担金は経済的に大きな負担となっている家庭もある。滞納額はいくらか。また、負担を抑え滞納を無くすために、下水管の敷設により地価の評価額が上がる可能性もある。固定資産税を減免するとか、一括納付には報奨金をつけるなど、何かいい考えはないのか。

答弁 下水道整備区域と下水道を利用できない区域との負担の公平性から、整備で利益を受ける方に、事業費の一部を負担する受益者負担金制度を設置している。納入は3年間の分納方式で、大きな負担にならないよう配慮している。360万円余りの滞納があるが、個々の相談により納入期間を延長するなど柔軟に対応している。地方税法では、水洗化改修には固定資産税の軽減規定がなく、減免の対象とはならない。

質問 役所や学校が負担金を払っている自治体もある。宮津市は公の土地からは徴収していない、なぜか。将来、負担金が発生する事業は公共

施設にも課すようにしてはどうか。

答弁 公の施設として不特定多数に還元されるため徴収しない。

災害時に井戸の活用を

質問 「東部地域災害時提供井戸マップ」は断水でトイレに困った教訓から生まれた。各地域でも活用を。

答弁 共助の点で有意義な取り組みであり、自治会等に勧めていく。



府中地区の下水道工事

竹資源活用事業の

詳細事業費と将来見通しは

宮津新生会 徳 本良孝

答弁要旨 事業実施状況を検証し事業運営自立を目指す

質問 本事業は、竹を原材料とし「木質バイオプラント」によるメタノール精製と発電事業、竹のカスケード利用による事業であるが、事業開始初年度から現在に至る国・府の補助金を含め事業費の詳細を尋ねる。特に当該「プラント」の稼働状況、今後の事業全体に係る将来見通し、民間事業として補助金なしでの自立について尋ねる。

答弁 本プラント運転等の実証試験は、宮津市も参加している「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」が事業主体となり事業費は3億6619万円で市の補助金は9881万円である。稼働状況は、一部の施設を除き、連続運転は困難な状況で施設の本格稼働はしていない。その他事業補助は4300万円である。竹のカスケード利用による事業運営は平成27年度からの自立を目指している。

立体駐車場の処理方針は

質問 宮津市が損失補償している株式会社まちづくり推進機構の立体駐車場は営業開始当初より「減価償却」もせ



宮津バイオマスエネルギー製造事業所

ず、大幅な債務超過で危機的状況であり、債務整理に市の財源投入は必ずである。経営責任等の所在を加味しながら、具体的な処理方針を示すことが必要と考えるがどうか。

答弁 株式会社まちづくり推進機構は現在、宮津市からの短期借入金に依存しなければ経営が維持できない状況であり、その債務整理を行う必要があることから将来的に市に大きな負担が見込まれる中で、出来るだけ早期に市としての処理方針を決定する。

表紙写真を募集します！

宮津市議会では、議会だよりを年4回(5月、8月、11月、2月)発行しています。

本紙の表紙に掲載する写真を募集します。

○募集内容 地域の取り組みや行事など、地域の魅力を紹介できる写真。

○応募規定 応募者が撮影し、被写体の承諾を得たもの。

○規格など 現像写真またはデジタルデータ。

○紙面への掲載 写真は白黒で、タイトルと応募者の氏名を掲載します。

○応募方法 ①タイトル②住所③氏名④電話番号を明記の上、議会事務局までご応募ください。

○選考 議会情報化等特別委員会で行います。

○注意事項 応募写真は原則返却しません。

○応募・問合せ先 〒626-8501(住所記入不要)

宮津市議会事務局

TEL 0772-45-1639(直通)

e-mail:gikai@city.miyazu.kyoto.jp

12月定例会の予定 (会期12月2日～12月25日)

- 11月27日(水) 請願・陳情等締切(正午まで)
28日(木) 議会運営委員会
12月 2日(月) 本会議(決算採決、提案理由説明等)
9日(月) 本会議(一般質問)
10日(火) 本会議(一般質問)
11日(水) 本会議(質疑～委員会付託)
12日(木) 常任委員会
13日(金) 常任委員会(予備日)
20日(金) 議会運営委員会
25日(水) 本会議(委員長報告～採決)

※開議時刻10:00(11/28のみ13:30)

- ・この日程は予定であり、予告なく変更となる場合があります。
- ・一般質問の質問者及び質問事項等については、一般質問日の約1週間前に市議会ホームページで確認することができます。また、新聞折込でもお知らせします。
- ・録画映像や本会議の会議録についても、インターネットで閲覧できます。ぜひご覧ください。

インターネット検索

宮津市議会

検索

クリック

あ と が き

9月15日から16日にかけて京都府を襲った台風18号は、長時間の大雨が予想されたことから、府全域に50年に1度の災害の恐れが著しく高まっていることを知らせる「大雨特別警報」が発せられる中で、中丹地域に甚大な被害をもたらしました。

当市においても、由良地区で田畑や道路が冠水した他、養老地区を始め各地で崩土による被害があり、床下浸水も20世帯に及びました。改めて、被災されました方々にはお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、市議会では、10月に平成24年度決算が適正であったのかどうか、常任委員会でしっかり審議するとともに、開かれた議会をめざした取り組みとして、議会報告会を6箇所で開催してご意見をお聞きしてまいりました。今後とも市民目線で行政をチェックするとともに、市民のご意見を行政に反映していくという役割を担っていきますので、よろしくお願いたします。

行政視察報告会のお知らせ

各常任委員会がそれぞれ実施した行政視察の成果を報告します。

ぜひ傍聴にお越しく下さい。

■日時 平成25年12月25日(水)

本会議終了後

■場所 宮津市役所 議場(本館4階)

■内容 総務文教委員会

- (予定)
- ・防災体制強化の取り組み
 - ・道の駅について
 - ・第三セクター等の改革について 等
- 産業建設福祉委員会
- ・災害・復興事業の現状について
 - ・認知症高齢者等を支える地域づくりについて
 - ・一時立ち寄り型観光地からの脱却について

みやづ

議会だより

平成25年11月5日発行